

2018年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2018/07/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	「犯罪人像のパラダイム転換～先祖返り(遅れている人)から、過渡応者(急ぎすぎる人)へ～」(『龍谷大学社会科学研究所年報』第48号、2017年) 79～90頁		
2018/07/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	論説「薬物依存対策の現状はいま... 薬物依存めぐる現状と「刑の一部執行猶予」制度(特集 薬物依存と性犯罪)」、『創』第48巻10号 30-36頁		
2018/12/01	出版物(国内)	石塚 伸一 教授	「第6章 デリダと死刑廃止運動—教祖の残虐性と異常性」高桑和巳編著『デリダと死刑を考える(白水社)、205～238頁所収		分担執筆
2018/09/01	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	CURRENT DRUG POLICES IN JAPAN: HARSH PUNISHMENT, DIVERSION WITH TREATMENT OR HARM REDUCTION, European Society of Criminology Conference, 2018年9月 Bosnia & Herzegovina		
2018/12/01	論文(国内)	福島教授	「接見における証拠秘密検討権とパソコン等の利用」、龍谷法学 51(2)、987-1007、2018-12		
2019/03/01	論文(国内)	福島教授	「井戸田刑事訴訟法学と実務(特集 井戸田刑事法学の今日的意義)」、犯罪と刑罰(28)、25-40、2019-03、刑法読書会		
2018/07/12	学会報告(海外)	武田 俊信 教授	Prediction of sleep disturbances depends on the intensity of ADHD symptoms: logistic regression analysis The 9th Congress of Asian Sleep Research Society		
2018/07/28	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	Pupil size reveals atypical state control in adults with ADHD, The 41st Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society		
2018/08/01	論文(国内)	武田 俊信 教授	「ADHDのある成人に対するコーチングの効果: 10名のADHD成人への臨床研究」安藤 瑞穂, 武田 俊信, 熊谷 恵子, LD研究 = Japanese journal of learning disabilities 27(3)、290-300、2018-08		
2019/03/01	論文(国内)	武田 俊信 教授	「講義内での大学生へのオーガナイゼーション・スキル向上プログラムの効果研究」武田 俊信, 小正 浩徳, 郷式 徹, 発達心理学研究 = The Japanese journal of developmental psychology 30(1)、1-10、2019-03	1	
2019/03/25	論文(海外)	武田 俊信 教授	Takeda T, Burns GL, Jiang Y, Becker SP, McBurnett K. Psychometric properties of a sluggish cognitive tempo scale in Japanese adults with and without ADHD. Atten Defic Hyperact Disord. 2019 Dec;11(4):353-362. doi:10.1007/s12402-019-00300-z. Epub 2019 Mar 25.	1	
2018/10/30	論文(国内)	古川原 明子 准教授	古川原明子, 秋田真志, 笹倉香奈, ウェイニー・スクワイア: 国際シンポジウム「揺さぶられる司法科学: 揺さぶられっ子症候群仮説の信頼性を問う」(1)、龍谷法学 51(1) 10 - 30 2018年10月		
2018/10/30	論文(国内)	古川原 明子 准教授	カリフォルニア州「終末期の選択法」(End of Life Option Act)のその後、龍谷法学 51(1) 413 - 426 2018年10月		
2019/02/01	論文(国内)	古川原 明子 准教授	凶器準備集合罪の保護法益(大出良知教授退任記念号)、東京経済大学現代法学会誌 36 95 - 109 2019年2月		
2019/02/01	論文(国内)	古川原 明子 准教授	国際シンポジウム「揺さぶられる司法科学: 揺さぶられっ子症候群仮説の信頼性を問う」(2)、龍谷法学 51(3) 577 2019年2月		
2019/03/01	論文(国内)	古川原 明子 准教授	国際シンポジウム「揺さぶられる司法科学: 揺さぶられっ子症候群仮説の信頼性を問う」(3・最終回)、龍谷法学 51(4) 581 2019年3月		
2019/03/01	論文(国内)	黒川 雅代子 教授	「あいまいな喪失理論による認知症の人の家族への支援」日本生活支援学会誌(8) 13 - 20 2019年3月		
2019/03/01	出版物(国内)	黒川 雅代子 教授	「あいまいな喪失と家族のレジリエンス」黒川雅代子(担当:編者(編著者)、範囲:はじめに 第4章)、誠信書房 2019年3月		
2018/03/	招待講演(海外)	津島 昌弘 教授	Violence Against Women in Japan: Main Results of "The Survey of Womens' Safety in Daily Life", Invitational Lecture of Jinan University (Zhuhai, China) 2018年3月		
2018/09/01	学会報告(海外)	津島 昌弘 教授	VIOLENCE AGAINST WOMEN IN JAPAN: MAIN RESULTS OF "THE SURVEY OF WOMEN'S SAFETY IN DAILY LIFE", European Society of Criminology Conference, 2018年9月 Bosnia & Herzegovina		
2018/04/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「犯罪生物学の過去・現在・未来: 脳・遺伝と犯罪(法律家のための犯罪学入門第33回)」、『雑誌『季刊 刑事弁護』、現代人文社 [編]		
2018/06/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	刑事司法と生物社会学 犯罪生物学の再興 エイドリアン・レインによる講演「暴力の解剖学」, 「罪と罰」: 日本刑事政策研究会報 55(3) 5 - 17 2018年6月		
2018/07/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	特集「青年」という年齢段階を考える: 学際的視点から 犯罪統計からみた青年(若年成人)の特徴、青少年問題 65 42 - 50 2018年7月		
2018/07/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「刑務所と社会との関係を考える: 大井造船作業場の逃走事案から(法律家のための犯罪学入門第34回)」、『雑誌『季刊 刑事弁護』、現代人文社 [編]		
2018/09/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「特集 矯正・保護総合センター主催矯正・保護課程開設40周年記念事業日英シンポジウム「少年司法のゆくえ」報告 シンポジウム企画の趣旨: 日英の少年司法はどこに向かっているのか、少年非行の動向とともに探る」、龍谷大学矯正・保護総合センター研究年報(8) 5 - 9 2018年		
2018/10/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「法律時評 リアリティを失った日本の死刑」浜井 浩一、法律時報 90(11) 1 - 3 2018年10月		
2018/10/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「非行少年たちはどこに行ったのか(上)少年非行減少の原因を探る(法律家のための犯罪学入門第35回)」、『雑誌『季刊 刑事弁護』、現代人文社 [編]		
2019/02/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「特集 司法領域における触法障害者等への支援 触法高齢・障害者を生み出す刑事司法の問題点と彼らに対する支援のあり方」浜井 浩一、作業療法ジャーナル 53(2) 115 - 122 2019年2月		
2019/01/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「非行少年たちはどこに行ったのか(下)少年非行減少の原因を探る(法律家のための犯罪学入門第36回)」、『雑誌『季刊 刑事弁護』、現代人文社 [編](97)、195-202、2019		
2019/02/	論文(国内)	浜井 浩一 教授	触法高齢・障害者を生み出す刑事司法の問題点と彼らに対する支援のあり方(特集 司法領域における触法障害者等への支援)、作業療法ジャーナル 53(2)、115-122、2019-02		

2018年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2019/03/	論文(国内)	浜井 浩一 教授	日本における女性の暴力被害の実態：EUとの共同調査『女性の日常生活の安全に関する調査』の結果から(伊藤康一郎先生追悼論文集), 法学新報 125(11・12), 227-254, 2019-03		
2018/12/03	学会報告(海外)	浜井 浩一 教授	Why is juvenile crime declining in Japan and in the other western countries?, the Australian and New Zealand Society of Criminology 2018年12月3日, オーストラリア		
2019/02/24	招待講演(海外)	浜井 浩一 教授	Success factors of the Japanese Juvenile Justice system, Council of Europe(欧州評議会), 2019年2月24日 フランス		
2019/03/01	論文(国内)	井上 善幸 教授	「行文類」における第十七願の意義について, 井上善幸, 真宗学(139) 21 - 53 2019年3月	1	
2019/03/01	論文(国内)	井上 善幸 教授	巻頭言:この1年間を振り返って, 矯正講座(39), 1-4, 2019		
2018/10/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「Outlook ヘイトスピーチ解消法の施行から2年 問題点をみつけ、新たな法律を(特集 ヘイトスピーチは止められる: 差別のない社会をつくろう)→(差別を止めるための道筋)」、社会運動 = Social movements (432), 142-151, 2018-10		
2018/10/30	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(8): (Walter Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil, 4. Auflage, 2015) 龍谷法学 51(1), 905		
2019/02/15	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(9): (Walter Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil, 4. Auflage, 2015) 龍谷法学 51(3)		
2019/03/01	論文(国内)	金 尚均 教授	金 尚均「意見書: 法規制の根拠としての法益侵害・危険とその域外にある不快(特集 分限裁判を考える: 最大決平30・10・17(本誌2391号3頁)を受けて)」判例時報 / 2019		
2019/03/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「インターネット上の差別と法規制(特集 部落解放・人権文化フォーラム2018から)」すいへい・東京: 東京部落解放研究所紀要: liberation Tokyo (51), 2-17, 2019-03		
2019/03/12	論文(国内)	金 尚均 教授・玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(10): (Walter Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil, 4. Auflage, 2015) 龍谷法学 51(4), 691		
2019/	論文(国内)	金 尚均 教授	サイバー空間における違法又は有害な情報による被害の阻止と表現の自由の接続的発展可能性 コンテンツプロバイダに対する刑事的対応についての考察, 社会科学研究年報, (50), 189-201, 2019		
2018/	論文(国内)	吉川 悟 教授	「臨床心理士の養成課程におけるスーパーヴィジョンの効果研究—スーパーヴァイザーへの質問紙調査から—」, 佐伯ちひろ, 吉川悟, 龍谷大学臨床心理学紀要 (6) 37-48 2018年		
2018/	論文(国内)	吉川 悟 教授	「海外における家族療法を用いた発達障害の対応の動向について—Family Processの論文レビューによる調査研究—」志田望, 吉川悟, 龍谷大学臨床心理学紀要 (6)11-18 2018年		
2018/	出版物(国内)	齋藤 司 教授	隠された証拠がえん罪を晴らす: 再審における証拠開示の法制化に向けて 日本弁護士連合会再審における証拠開示に関する特別部会編 担当範囲「ドイツ」p64-76 現代人文社 「ドイツ」p64-76		分担執筆
2018/09/24	出版物(国内)	齋藤 司 教授	GPS捜査とプライバシー保護—位置情報取得捜査に対する規制を考える 指宿信編著 担当範囲「GPS大法廷判決とGPS監視捜査立法その展望と課題」p50-69, 「ドイツのGPS捜査とその法的規制方法」p128-141 現代人文社		分担執筆
2018/04/	論文(国内)	齋藤 司 教授	自白法則と自白排除—証拠法の基本的思考プロセス6(連載「刑事訴訟法の思考プロセス」第24回) 法学セミナー (758) 84 - 93		
2018/04/	論文(国内)	齋藤 司 教授	台湾における刑事法改正について: 捜査段階における記録閲覧制度の新設 法律時報 90(4), 83-89		
2018/04/07	招待講演(国内)	齋藤 司 教授	再審請求審における証拠開示—ドイツ法の視点から 日本弁護士連合会シンポジウム「法制化へ向けて—再審における証拠開示シンポジウム」: 於日本弁護士連合会		招待あり
2018/09/15	招待講演(国内)	齋藤 司 教授	法廷における手錠・腰縄とその理論的問題点 大阪弁護士会「それが必要? 法廷内での手錠・腰縄〜こんな日本だけ! ?」: 於大阪弁護士会館		招待あり
2019/03/01	論文(国内)	中根 真 教授	中根真「小河滋次郎と『児童保護本位』の保育事業—予防的社会事業構想の第一段階として—」(公財)日本生命済生会『地域福祉研究』公7(通算47), 2019年3月発行	1	
2018/04/	論文(国内)	玄 守道 教授	刑事法学の動き 金子博「過失の競合に関する一考察: 過失不作為犯の競合を手掛かりとして」法律時報 90(4) 110 - 114		
2018/05/	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 ミヒャエル・バヴリック『市民の不法』(19) 関西大学法学論集 68 (1) 318 - 329		
2018/07/18	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 ミヒャエル・バヴリック『市民の不法』(20) 関西大学法学論集 68 (2) 474 - 482		
2018/09/14	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 ミヒャエル・バヴリック『市民の不法』(21) 関西大学法学論集 68 (3) 671 - 686		
2018/10/	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 ドイツにおける性刑法の改正: 性的強要から性的侵害(Ubergreif)へ 龍谷法学 51(1), 881-903		
2019/01/	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 ミヒャエル・バヴリック『市民の不法』(22・完) 関西大学法学論集 68(5) 1297 - 1320		
2019/02/15	論文(国内)	玄 守道 教授	翻訳 PD Dr. Liane Wörner, 刑法における生命保護の矛盾?: 首尾一貫した刑法上の生命保護に関する考察 龍谷法学 51(3) 2109 - 2133		
2018/05/	出版物(国内)	井上 見淳 准教授	興正派鹿兒島教区研究会講義録 担当範囲「親鸞聖人と親無量寿経」 真宗興正派鹿兒島教区強化推進協議会		共著
2019/03/	論文(国内)	井上 見淳 准教授	小児往生論の研究(中)名代だのみを中心として 真宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (140) 25 - 54		
2018/05/	論文(国内)	能美 潤史 准教授	親鸞自筆『教行信証』に付された角点の基礎的研究 『言語文化の中世』		

2018年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2018/06/	学会報告(国内)	伊東 秀章 講師	Family intervention through the normalization of past actions and making consensus to alter the communication, 伊東 秀章, 2nd Regional meeting of ISAPP, 31st Annual Meeting of JSAP 2018年6月 大阪		
2018/08/11	学会報告(国内)	伊東 秀章 講師	「協働的なコミュニケーションの基礎研究」, 一般社団法人日本家族療法学会第35回ぐんま大会		
2019/03/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「親鸞における対象喪失(下)親鸞思想とグリーンケアとの接点を求めて」, 打本 弘祐, 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (139) 54 - 84	1	
2019/03/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	群馬県仏教保護会(「矯正・保護課程」開設40周年記念号(2)) -- (矯正施設参観記 2018年度「矯正・保護課程」共同研究・施設参観報告), 打本 弘祐, 矯正講座 (38) 150 - 154		
2018/06/28	学会報告(国内)	廣橋助手	「問題経過の長い事例に対して新しい枠組みを導入した一事例」廣橋 諒一, 吉川 悟, 家族療法学会第36回大会		
2019/03/	論文(国内)	小正 浩徳 准教授	「大学生の中途退学に関する心理的要因の文献研究」小正 浩徳, 龍谷大学論集 (493) 40 - 56		
2019/03/	論文(国内)	小正 浩徳 准教授	「講義内での大学生へのオーガナイゼーション・スキル向上プログラムの効果研究」武田 俊信, 小正 浩徳, 郷式 徹, 発達心理学研究 30 (1) 1 - 10	1	
2018/08/	学会報告(国内)	小正 浩徳 准教授	「死」を考える講義が学生の死生観にもたらすものとは?, 小正 浩徳, 滋野井一博, 友久 久雄: 日本心理臨床学会第37回大会		
2018/08/25	学会報告(国内)	内手 弘太 講師	本願寺派における教学近代化の系譜—前田慧雲から梅原真隆へ第17回「仏教と近代」研究会		
2018/12/01	論文(国内)	内手 弘太 講師	大正期真宗教学史における親鸞像とその思想: 梅原真隆を中心に龍谷大学大学院文学研究科紀要 (40) 34 - 34	1	
2019/03/01	論文(国内)	内手 弘太 講師	近代真宗の前提: 前田慧雲を媒介に(二〇一七年度 研究生報告論文要旨) 浄土真宗総合研究 = Jodo Shinshu research (12) 110 - 112		
2018/04/01	学会報告(国内)	デイビッド・ブルースター 研究員	日本における薬物乱用への方策と手法, 研究会、龍谷大学犯罪学研究センター		招待あり
2018/05/01	学会報告(海外)	デイビッド・ブルースター 研究員	The Techniques and Strategies of Drug Abuse Control in Japan, International Society for the Study of Drug Policy Conference		
2018/09/01	学会報告(海外)	デイビッド・ブルースター 研究員	The Containment of Marginalised Others in Contemporary Japan, デイビッド・ブルースター, European Society of Criminology Conference, 2018年9月 Bosnia & Herzegovina		
2018/12/01	論文(海外)	デイビッド・ブルースター 研究員	A Critical Assessment of Indications of the National Prevalence of Illegal Drug Use in Japan, David Brewster, Contemporary Drug Problems 45(4) 425 - 440 2018年12月	1	
2018	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	性犯罪「被害」防止対策の問題点 We Learn (780)		
2018/05/09	学会報告(国内)	牧野 雅子 研究員	刑事司法の性暴力認識—ジェンダーの視点から— 2018年度堺自由の泉大学開校式 記念シンポジウム		招待あり

8

▼2018年度集計

論文(国内)	53	→うち査読付き論文:6
論文(海外)	2	→うち査読付き論文:2
出版物(国内)	5	
出版物(海外)	0	
学会報告(国内)	8	
学会報告(海外)	6	
招待講演(国内)	2	
招待講演(海外)	2	

計 78